社会福祉法人　槇の里

令和７年度

事　業　報　告　書

〔名　　称〕　　障がい者支援施設　　いすみ学園

〔事業種目・定員〕

①　施設入所支援事業	５２名
②　生活介護事業〔①を含む〕	６０名
③　短期入所事業	４名
④　共同生活援助事業（包括型）	１２名
「さくらの家」	６名
「たんぽぽの家」	６名

目　次

目　次 …… 2
【１】令和７年度を振り帰って …… 3
【２】【利用者支援の柱】…… 4
１高齢・虚弱者対策 …… 4
（１）利用者の健康管理 …… 4
（２）健康管理 …… 4
（３）入院 …… 6
（４）食事形態 …… 7～9
２．感染症対策 …… 10
３．高齢者支援 …… 10
４．日中活動 …… 10
５．新棟建設 …… 11
６．介護浴槽 …… 11
７．求人活動 …… 11
（１）人材育成 …… 11～17
８．人事考課 …… 17
９．減災・リスクマネジメント …… 17
10．権利擁護 …… 17～18
【３】生活介護「作業班編成」…… 19
（１）園内の売上 …… 19
（２）園内体験異動 …… 20
【４】施設入所支援　１．余暇活動 …… 20～23
【５】短期入所・日中一時支援 …… 24
【６】グループホーム …… 25
【７】食事と睡眠 …… 26
【８】会議 …… 26～29
【９】その他 …… 30～31
設備の整備状況 …… 32
理事会の開催状況 …… 33
評議員会の開催状況 …… 34

【1】令和 7 年度を振り返って

令和 7 年度は憲政史上初の女性首相の誕生など新時代を期待させる明るいニュースもある中、世界的な物流恐慌は継続しており、日本においても様々な経済不安を増幅させた 1 年となった。

学園では、令和 9 年度の報酬改訂までに実施が求められる「地域共生社会」の具体化については、利用者、保護者への地域移行の聞き取り調査を行い、希望者には具体的にスケジュールを立ててグループホームの体験利用につなげる取り組みを実践した。またグループホーム利用者においても地域連携推進会議を実施し、より地域社会との密接な関係性の構築を視野に入れた活動を展開した。

また災害対策の強化にも力を入れた。避難訓練は継続的に行われているが、夜間帯を想定して夜勤者 3 名で避難させる実地訓練を実施した。関係者全員が慣れない状態での訓練であり、様々な事実を検証する良い機会となった。また消防署の協力を仰ぎ、実際に避難訓練を指導していただく機会を持つこともできた。

虐待防止ならびに身体拘束適正化に関する取り組みも着実に歩を進めている。虐待防止委員会は年 2 回の開催であるが、作業班単位などの細かな区分での主任による研修実施など、より浸透しやすい環境の整理を行うことができた。身体拘束適正化についても担当者による具体的事案の記録や保護者への確認作業など、具体的な実務作業を適切に進めることができた。

強度行動障害者受け入れにも動き始めた年となった。千葉県独自事業である「暮らしの場」支援会議から 2 週間の緊急一時保護で対象者を預かり、職員全体で自らの支援技術や連携の在り方などを検証する良い機会とすることができた。

全体を通して令和 9 年度の報酬改訂に向けた準備は順調といえる。何より利用者の健康と暮らしの充実に向けた支援を進めている。

【2】利用者支援の柱

1．高齢・虚弱者対策

（1）利用者の健康管理

いすみ医療センターには継続して 3 ケ月に 1 度の集団検診を実施している。その都度嘱託医師の先生から学園看護師に対して、利用者への個別アドバイスの時間が設けられ、支援員や保護者へのフィードバックがなされている。時には保護者を個別に招いて、具体的に疑問等にも応えて下さり、より安心感のある支援へとつながっている。

脳神経内科の野村先生への相談はより重要度を増してきている。いすみ医療センターでは対応が難しい利用者の入院受入れや相談にも快く応じて下さっている。高齢虚弱化が深刻さを増す学園にとって、医療サポートをいただいている。

また歯科治療に関しては、ちはら歯科に全面的にサポートをしていただいている。月に 1 度の作業班別検診（利用者は年 2 回検診）と、その都度の治療を継続している。検診時に歯石除去も行い、定期的なクリーニングが実施できている。

（2）健康管理

内容	実施日	対象者
利用者健康診断(心電図含む) 夷隅医師会診療所(巡回健診) 利用者健康診断(胸部 X-P 含む) 夷隅医師会診療所	R7.8/18 R8.2/6	利用者(66 名) 利用者(65 名)
生活習慣病予防健診 　JCHO 千葉病院(巡回健診) 生活習慣病予防健診 　JCHO 千葉病院(巡回健診)	R7.7/23 R8.1/27	夜勤従事者(25 名) 職員(46 名)
肝炎検査		対象者なし
大腸がん検診	R7.6/7～6/16	48 名
前立腺がん検診	R7.6/3	27 名
乳がん検診	R7.7/22	8 名
新型コロナワクチン接種(希望者)	R7.11/27	49 名
インフルエンザ予防接種	R7.10/30	利用者(65 名) 職員(51 名) 委託業者(5 名)
帯状疱疹予防接種	R7.5/21 R7.7/1 R7.9/17	3 名 1 名 1 名

風疹抗体検査		対象者なし
肺炎球菌ワクチン接種	R7.5/21 R7.9/17	1 名 1 名
脳神経内科(野村 Dr.)診察		延べ人数　　494 名
毎月第 1 土曜日に体重測定　隔週日曜日に血圧測定		

＊インフルエンザ予防接種は永津さいとう医院閉院のため北村整形外科 北村 Dr.来園しいすみ学園医務室で実施。

施設外診療

診療科	延べ人数	備考
脳神経内科	1 名	野村 Dr.訪問診察除く
内科	220 名	ワクチン接種・健康診断除く
外科	12 名	大腸内視鏡検査　2 名 胃内視鏡検査　1 名
整形外科	18 名	
泌尿器科	62 名	
皮膚科	21 名	
耳鼻科	4 名	
眼科	6 名	
婦人科	3 名	
乳腺外来	1 名	
歯科	177 名	
合計	525 名	

いすみ医療センター・塩田病院・亀田クリニック・長生病院
北村整形外科・大原眼科・ちはら歯科医院・鈴木歯科医院・福永歯科医院・茂原皮膚科

野村 Dr.診察

4/11 41 名	5/9 41 名	6/13 41 名	7/11 41 名	8/8 41 名	9/12 41 名
10/10 41 名	11/14 41 名	12/12 41 名	1/9 41 名	2/13 42 名	3/13 42 名

歯科検診（ちはら歯科医院）

4/30 万木１班 9 名	5/28 地域活動班 10 名	6/18 文化活動班 9 名	8/6 石鹸班 8 名	8/20 加工班 10 名	9/17 万木班 7 名
10/29 外作業班 10 名	11/7.10 G 実習 8 名 11/19 地域活動班 8 名	12/17 文化活動班 12 名	1/21 石鹸班 9 名	2/18 加工班 9 名	3/18 万木班 7 名

＊G 実習・就労も個別受診から班単位での受診へ変更。

（3）入院

利用者名		医療機関	入院日	退院日
K・N	気管支炎	いすみ医療センター内科	R7 年 3 月 29 日	R7 年 4 月 21 日
T・H	肺炎	いすみ医療センター内科	R7 年 4 月 7 日	R7 年 4 月 28 日
M・S	嘔吐	塩田病院脳神経内科	R7 年 10 月 2 日	R8 年 3 月 17 日 退所
N・J	尿路感染症	いすみ医療センター内科	R7 年 10 月 14 日	R7 年 10 月 27 日
M・F	蜂窩織炎	いすみ医療センター内科	R7 年 11 月 5 日	R7 年 11 月 19 日
M・A	右大腿骨 頚部骨折	塩田病院整形外科	R7 年 12 月 22 日	R8 年 1 月 14 日
M・F	尿路感染症 廃用症候群	いすみ医療センター内科 塩田病院脳神経内科へ転院	R8 年 2 月 28 日 R8 年 3 月 24 日	

＊　N・J 様は４／３に医療センター入院中に急逝。

（４）食事形態

【主治医の指示があり食事変更を行った方】

R7.12 月 13 日（朝）～BMI 16.9（痩せ）糖尿病があるため食事量の調整ではなく栄養補助食品を朝食のみ主食に添加（パンの日は飲み物に添加する）
プロテイン FeZ（個人負担）10ｇ/日
エネルギー38kcal・たんぱく質 8.0ｇ・鉄 2.4ｇ・亜鉛 4.0ｇ
女性１名

【健康管理委員会にて食事量・食形態の見直しを行った方】

R7.4 月 1 日（朝）～　油抜きへ　男性１名
R7.4 月 1 日（朝）～　E　⇒　D/E（2800kcal ⇒ 2500kcal）へ　男性１名
R7.4 月 28 日（夕）～常食・一口大刻み ⇒ 全粥 150ｇ・ごく刻みトロミ付
水分薄いトロミ付へ　おやつゼリー又はプリン　男性１名
R7.4 月 30 日（夕）～　D/E ⇒ B/D（2500 ㎉　⇒1800 ㎉）常食 ⇒ 全粥 300ｇ
一口大刻み・水分薄いトロミ付へ　男性１名
R7.5 月 12 日（朝）～　水分トロミ付中止、汁ゼリーへ　食堂時のみ取り分け皿つける
男性１名
R7.5 月 12 日（朝）～　全粥 150ｇ ⇒ 300ｇ、水分トロミ中止へ　男性１名
R7.5 月 12 日（朝）～　D/E ⇒ E(2500 ㎉ ⇒ 2800 ㎉)へ　男性１名
R7.5 月 12 日（朝）～　全粥 200ｇ ⇒ スベラカーゼ粥 200ｇへ　女性１名
R7.7 月 1 日（朝）～　たんぱく質ゼリー中止　女性２名
R7.7 月 1 日（朝）～　プロテイン FeZ 添加中止　女性１名
R7.7 月 15 日（朝）～　リハたいむ（栄養剤）中止　女性１名
R7.8 月 12 日（夕）～　全粥 300ｇ ⇒ 軟飯 210ｇへ　おやつ常食へ　男性１名
R7.9 月 13 日（夕）～　B/D ⇒ D（1800kcal ⇒ 2100kcal）へ 軟飯 210ｇ⇒295ｇ
男性１名
R7.9 月 29 日（朝）～　水分薄いトロミ付け中止　女性１名
R7.9 月 29 日（昼）～　主食ご飯 ⇒ 軟飯 210ｇ　一口大刻み ⇒ 荒刻みへ　女性１名
R7.10 月 11 日（夕）～　水分トロミ付ける　食堂水・お茶マグカップ各１杯
作業日　トロミ付麦茶 300ml、500ml ボトル各１本提供　男性１名
R7.12 月 3 日（朝）～　D ⇒ D/E（2100kcal ⇒ 2500kcal）へ　男性１名
R7.12 月 13 日（夕）～　D ⇒ D/E（2100kcal ⇒ 2500kcal）へ　男性１名

【体調不良などで食止め、食事量の調整、食事形態や食具の変更、食事提供場所変更等】

R7.9 月 14 日（昼）～　9 月 16 日（昼）　発熱　静養ディスポ食器居室提供　女性 1 名

R7.11 月 1 日（昼）～ 11 月 5 日（朝）　嘔吐・発熱　静養ディスポ食器居室提供　女性 1 名

R7.11 月 8 日（昼）～ 11 月 10 日（朝）　胃腸炎 静養 食事トレーセット居室提供　女性 1 名

R7.11 月 17 日（夕）～ 11 月 24 日（昼）発熱インフルエンザ A　静養ディスポ食器居室　女性 2 名(グループホーム女性 1 名)

R7.11 月 20 日（昼）～ R7.11 月 25 日（夕）発熱インフルエンザ A　静養ディスポ食器提供　グループホーム男性 1 名

R7.11 月 28 日（夕）～ R7.11 月 29 日（朝）発熱　静養ディスポ食器対応　男・女性各 1 名

R7.12 月 23 日（夕）～ R7.12 月 24 日（朝）発熱　静養ディスポ食器対応　　男性 1 名

R7.12 月 247 日（夕）～ R7.12 月 29 日（朝）発熱　溶連菌による丹毒　常食から全粥・刻み　男性 1 名

【入退院食事止め】

R7.10 月 2 日（夕）～　R8.3 月 17 日（昼）嘔吐続き食事摂取不慮　塩田病院入院中にて医療が主となり、いすみ学園退所　女性 1 名

R7.11 月 5 日（夕）～　R7.11 月 19 日（夕）蜂窩織炎　いすみ医療センター　入院　男性 1 名

R7.12 月 22 日（夕）～ R8.1 月 14 日（昼）骨折　塩田病院　入院　女性 1 名

R8.3 月 1 日（朝）～　尿路感染　いすみ医療センター入院

R8.3 月 24 日　いすみ医療センターから塩田病院転院　入院中　女性 1 名

【栄養管理について】

・令和 7 年 2 月に嗜好調査、身体活動レベルの見直しを行い、令和 7 年度の給与栄養目標量を算定。

給与栄養目標量：エネルギー2000 ㎉　たんぱく質 80g　脂質 55g　炭水化物 250g　食塩 8g、高齢化、身体活動量の低下等に伴い、給与栄養目標量が前年度より 100 ㎉低下した。

・療養食加算　糖尿病食　女性 2 名　DM1400 ㎉　R3.5 月 14 日（朝）より　食塩 6 g 以下
R8.3 月 17 日　退所にて終了
DM1900 ㎉　R4.4 月 6 日（夕）より
糖尿病食　男性 2 名　DM1900 ㎉　R2.11 月 11 日（昼）より
DM2400 ㎉　R4.4 月 6 日（夕）より

(R5.10 月 1 日朝より DM2100 ㎉から変更)

心臓病食　男性 1 名　　2100 ㎉　R6.10 月 17 日（夕）より　　以上 4 名継続

・個人購入にて栄養補助食品を提供している方

ホリカフーズ：たんぱく質ゼリー70 g /1 個　昼食時提供

エネルギー91 ㎉　タンパク質 7.5 g　　男性 1 名

クリニコ：クリミールコーヒー味 125 ㎖/1 本/日　おやつ時提供　BMI 痩せの為

エネルギー200 ㎉　タンパク質 7.5 g　　男性 1 名

クリニコ：プロテイン FeZ　10 g /日 朝食の主食、飲み物に添加　BMI 痩せの為

エネルギー38 ㎉ タンパク質 8 g 鉄 2.4 g 亜鉛 4.0 g　　女性 1 名

【食事変更・栄養管理に関するまとめ】

令和 7 年度も、利用者の健康状態や栄養状態に応じた細やかな食事管理を継続して実施した。健康管理委員会による食事量・食形態の見直しでは、嚥下機能や体調・体重の変化に合わせた調整を行い、誤嚥予防や摂取量の確保につなげることができた。また、発熱や胃腸症状がみられた際には迅速に対応し、安全な食事提供体制を維持することができた。一方で、入院に伴う長期の食事中止事例も発生し、退所につながるケースもあったことから、体調変化の早期把握と適切な栄養介入の必要性が改めて示された。これらの取り組みを通じて利用者一人ひとりの状態に応じた個別性の高い食事提供を丁寧に行い、より質の高い食事サービスの維持に努めた。

【栄養状態の評価　51 名中】

令和 7 年 4 月　　肥満 4%：男性 1 名　女性 1 名　　痩せ 17%：男性 7 名　女性 2 名

令和 8 年 3 月　　肥満 4%：男性 1 名　女性 1 名　　痩せ 20%：男性 8 名　女性 2 名

令和 8 年 3 月 31 日　女性 2 名入院中

	男性	女性	とろみ使用
常食	26 名	12 名	0
一口大	4 名	3 名	1 名
刻み	0	0 名	0 名
ごく刻み	2 名	4 名	4 名
粥	1 名	1 名	
軟飯	1 名	0 名	
スベラ粥	1 名	3 名	
経管栄養	0 名	0 名	

令和 8 年 3 月 31 日　現在

【誕生会のケーキについて】

近年の物価高騰により、給食費の食材料費が大幅に上昇している状況を受け、これまで給食費の中から賄っていた「誕生会のケーキ代」を捻出することが難しく、本年度６月より誕生会のケーキ代を、保護者会にご支援いただき、従来どおり利用者にとって楽しいお誕生会を実施することができた。

２．感染症対策

日常的な感染症対策は習慣化されつつある。年間を問わず、作業終了時、外出後の感染症対策を実践してきた。その成果もあって 11 月の一時帰宅後に若干名のインフルエンザ罹患者を出したものの、クラスターとはならずに鎮静化することができ、その後の日中活動並びに余暇活動に影響をもたらすことはなかった。冬場に入り感染症対策期間とはしたものの、日中活動は感染対策に充てることはなく、利用者は穏やかな毎日を送ることができた。

３．高齢者支援

令和 7 年度は更に虚弱化が進みターミナルケアに近い状態へと移行する利用者が現れた年であった。M・S さんはストマを造設し、下降線をたどっていたものの穏やかな日常を過ごすことができていた。しかしながら徐々に嘔吐をくり返し、状態のコントロールを取ることが難しい状態となった。またM・F さんは車いすで不随意運動が強い状態であったが、尿路感染からの入院に伴い経口摂取が難しい状態へと移行した。日常的な医療的処置が必要との判断により塩田病院へと転院となった。

他にも日常的な介護と看護が必要な利用者増加している。虚弱ではあるが食事・運動・睡眠などの確保で、安定的な生活を永く維持できるようにすることが求められている。

さらに医療面では内疾患による入院は少なくなりつつあるが、転倒や外傷による入院が増えてきている。これらは先述したように虚弱化が顕在してきた結果と言え、より職員の介護技術の練度を上げていく必要に迫られている。

４．日中活動

日中活動及び余暇活動、行事、一時帰宅、面会等の年間行事計画はすべて計画通りに実施することができた。概ね利用者の生活は「働くこと」と「楽しむこと」の両輪で進めることができた。

作業班及びクラブ活動は基本的に大きな改変は実施することなく進めた。共に高齢虚弱化への対応と生産力向上の二極化への対応という点では変わらない。その方向性で職員も着実に力をつけることができた。

５．新棟建設

世界情勢並びに経済の安定化は全く先を見通すことができず、物資の高騰続伸している。

学園でもこの状況に鑑み、経営陣、新棟建設委員会の協議を経て、新棟建設に関しては白紙撤回するという苦渋の決断をすることとなった。

とはいえ現状の生活棟の老朽化は進んでおり、利用者が安全かつ快適に過ごすためには大規模修繕を行う必要性がある。そのため令和７年度中に新環境設計と協議を実施し、令和９年度に大規模修繕を行う計画で具体的な折衝を進めることができた。

６．介護浴槽

介護浴槽での入浴介護については基本的には車いす利用者を中心としているが、今年度は退院後の利用者についても予後の健康管理のために介護浴槽での入浴を実施した。体力が落ちている状態の利用者にとっては、一般浴槽では接触や転倒の危険性も高く、リスク要因は大きい。介護浴槽を利用することで安全かつ安心した入浴を実践することができた。今後も積極的な利用を続けていく。

７．求人活動

学園ホームページでの求人に加え、人脈、ハローワーク及び地域向けの求人情報誌などを活用した。その結果、複数の問い合わせがあり、その中から有為の人材を獲得することができた。

（１） 人材育成

＊ 職場内研修

今年度の職場内研修は以下の予定で実施した。その目的は「職員が学びたいこと」「職員に学んでほしいこと」を研鑽することで、職員の知識を高めると共にその後の利用者支援に対するスキルアップを図ることにある。

（令和７年度職場内研修）

	内　容	**担当**
４月	学園理念について	施設長
５月	記録のとり方	片岡
６月	感染症対策（ガウンテクニックなど）	藤平ゆ
７月	地域移行について	加茂
８月	合意形成	是枝
９月	災害時のシミュレーション	長田
１０月	発達障害の基礎	課長
１１月	高齢化対策と機能維持	鈴木典
１月	高齢知的障がい者への支援と 意思決定支援について	加茂
２月	フレイル予防	大屋

3月	強度行動障害について	吉田

※基本的には職員会議後に実施。

前年度同様に職員個々の希望するテーマに沿った内容の研修、支援スタッフ部会、権利擁護委員会、災害対策委員会への派遣、施設見学（給食業務）などといった個別業務によるものが多く、可能な限り計画的に派遣した。

（職場外） 目的的に派遣。

期間	参加者	研修テーマ	開催地	目的
4.9	佐久間	第1回支援スタッフ部会代表者会議	千葉	出張
4.9	三神	東社協災害対策委員会4月	東京	出張
4.28	堂下・軽込・鈴木典	千葉県知的障害者福祉協会障害者支援施設部会・地域支援部会総会	千葉	出張
5.14	三神	東社協災害対策委員会	東京	出張
5.15	佐久間	支援スタッフ部会ブロック長打ち合わせ	千葉	出張
5.20	岸添	新人職員福祉入門講座	千葉	研修
5.21	大屋	令和7年度夷隅郡市栄養士会総会	千葉	研修
5.21	佐久間	千葉県知的障害者福祉協会	千葉	出張
6.3	大木	強度行動障害支援者研修	リモート	研修
6.5～6	片岡	リスクマネージャー養成研修（上級編）	東京	研修
6.10	大木	強度行動障害支援者研修	リモート	研修
6.11	三神	東社協災害対策委員会6月	リモート	出張
6.17	大木	強度行動障害支援者研修	リモート	研修
6.20	岸添	知的部会研修委員会主催研修会	東京	研修
6.23	佐久間	支援スタッフ部会第二回運営委員会	千葉	出張
6.24	大木	強度行動障害支援者研修	リモート	研修
6.26	鈴木典	令和7年度「第1回虐待防止・権利擁護研修」	リモート	研修
6.26	三神	東社協研修委員会6月会議	リモート	出張
6.27	鈴木典	令和7年度夷隅圏域精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業第1回実務者会議	千葉	出張
7.2	鈴木の・	外国人雇用に向けての施設見学	千葉	出張

	岩瀬ゆ・吉田			
7.3～4	堂下・軽込	令和７年度関東地区知的障害福祉関係職員研究大会	茨城	研修
7.4	大屋	令和７年度給食施設管理者・従事者講習会	リモート	研修
7.8	大木	強度行動障害支援者研修	千葉	研修
7.9	三神	東社協災害対策委員会７月会議	リモート	出張
7.10	加茂	利用者の高齢化～認知症について～	リモート	研修
7.11	土屋	社会福祉法人役員・管理者向け 「目からウロコの会計と決算書の見方」	東京	研修
7.16	三神	社会福祉施設の防災講座	千葉	出張
7.16	鈴木の	令和７年度グループホーム制度説明会	リモート	研修
7.18 ～19	片岡・三神	東社協災害対策委員来園者対応	園内	出張
7.21	篠崎	障がい者アート活動人材育成講座	千葉	研修
7.23	佐久間	千葉県知的障害者福祉協会理事会	千葉	出張
7.25	鈴木の	障害者グループホーム等見学会	千葉	研修
7.25	長沼・軽込・片岡・大屋・三神	避難訓練見学	千葉	出張
8.1	高地	全自社協関東ブロック交流会	東京	研修
8.1	加茂	社会福祉施設中堅管理者向け労務研修 事例から読み取るハラスメント対策	千葉	研修
8.5	是枝	千葉県知的障害者福祉協会権利擁護委員会定例会	千葉	出張
8.5	大屋	知的発達障害部会　利用者支援研究会 栄養スタッフ会　令和７年度学習会 「第二回　お口からの健康について考える」	リモート	研修
8.6	大屋	夷隅郡市栄養士会　役員会	千葉	出張
8.20	加茂	社会福祉施設中堅管理者向け労務研修 ハラスメントの当事者にならないために	千葉	研修
8.22	三神	東社協研修委員会　８月会議	リモート	出張
8.25	佐久間	支援スタッフ部会　第三回運営委員会	千葉	出張

9.1	佐久間	千葉県知的障害者福祉協会　理事会	千葉	出張
9.5	篠崎	うみのもり　作品の二次利用について	千葉	出張
9.6	軽込	地域でつながる高次脳機能障害支援	千葉	研修
9.10	三神	東社協災害対策委員会９月	リモート	出張
9.12	長沼	東京都社会福祉協議会「経営協セミナー（前期)」	東京	研修
9.15　～16	高地	千葉県知的障害者福祉協会　職員研修会	千葉	出張
9.23	篠崎	うみのもり　講座２―２　展示プランづくり	千葉	出張
9.25	是枝	障害のある人の意思決定支援を推進するための実践研修会	東京	研修
9.25	大屋	給食施設における業務継続計画（BCP）を考える ～非常時にも給食を届けるために準備すること～	千葉	研修
9.26	大屋	令和７年度給食施設研修会 日本人の食事摂取基準の改訂ポイントと各種給食施設での活用と栄養管理の評価について	千葉	研修
9.27	大屋	生涯教育研修会「日本人の食事摂取基準のポイントを学ぶ」	リモート	研修
10.8	長沼	第 10 回福祉新聞フォーラム 福祉施設の延命（大規模改修・修繕）と再生（建替え）の在り方	東京	研修
10.10	片岡	清水基金　フォローアップ研修	リモート	研修
10.15	大屋	2025 年度千葉県栄養士会福祉事業部第３回研修会 「知的障害者の障害の特性と食事支援」	リモート	研修
10.17	長沼	公益法人協会　社会福祉法人会計セミナー「予算・実践編」	東京	研修
11.12	三神	東社協災害対策委員会 11 月	リモート	出張
12.2	軽込・片岡	令和７年度 1000 か所ミニ集会	千葉	出張
12.5	吉田	東京都支援力育成派遣事業報告会打ち合わせ	リモート	研修
12.9	鈴木典・岩瀬祐	第３８回全日本自閉症支援者協会　福井大会	福井	研修

12.9	三神	東社協災害対策委員会主催学習会スタッフ参加及び懇親会	東京	出張
12.10	三神	ＤＷＡＴフォローアップ研修スタッフ参加及び懇親会	東京	出張
12.17	鈴木典	地域で暮らす利用者の発達支援･意思決定支援の取り組みから学ぶ	リモート	研修
1.9	是枝	千葉県知的障害者福祉協会権利擁護委員会定例会	千葉	出張
1.9	三神	東京ＤＷＡＴ八丈島派遣報告会	東京	出張
1.13	佐久間	支援スタッフ部会　第五回運営委員会	千葉	出張
1.14	奥野・會津	毎日行うレクリエーションのコツ	千葉	研修
1.14	片岡	令和７年度東京都経営青年会名刺交換会	東京	出張
1.14	三神	東社協災害対策委員会１月会議	東京	出張
1.15	片岡	リコー福祉セミナー	千葉	研修
1.19	大屋	夷隅郡市栄養士会　研修会調理実習	千葉	研修
1.23	鈴木典	第 17 回千葉県障害者 GH 大会	千葉	研修
1.27	大木	強度行動障害支援者研修	千葉	研修
1.29	岸添・秋葉	令和７年度　千葉県知的障害者福祉協会　権利擁護委員会 「虐待をなくすためのチーム作り･合意形成について学ぶ研修会」	千葉	研修
1.31	篠崎	うみのもり　講座２－４　作品展示と鑑賞会	千葉	出張
1.31	堂下・軽込・佐久間･末吉・大木・秋葉	自立支援セミナー	千葉	出張
2.1	篠崎	うみのもり　講座	千葉	出張
2.2	軽込	リスクマネジメント研修	千葉	研修
2.3	大木	強度行動障害支援者研修	千葉	研修
2.5	佐久間	支援スタッフ部会　夷隅・長生ブロック ブロック会議及び施設見学	千葉	出張
2.6	奥野	2025 年度第四回　全自者協関東ブロック研修	東京	研修

		会		
2.6	鈴木典	東社協　知的発達部会　地域支援分科会 日本理化学工業株式会社　見学会	神奈川	研修
2.13	佐久間	理事会	千葉	出張
2.17	三神	令和７年度　東京ＤＷＡＴフォローアップ研修	東京	出張
2.18	三神	東社協災害対策委員会　２月会議	東京	出張
2.19　～ 20	佐久間	施設長等一泊研修会	千葉	出張
2.26	軽込	東社協　虐待防止・権利擁護研修	リモート	研修
3.5	佐久間	令和７年度 部会長協議会および全国支援スタッフ委員会代表者会議	東京	出張
3.6	吉田	東京都支援力育成派遣事業　成果報告会	リモート	出張
3.11	大屋	夷隅郡市栄養士会役員会	千葉	出張
3.11	堂下・ 長沼	御下賜金　伝達式	千葉	出張
3.11	三神	東社協災害対策委員会　３月会議	リモート	出張
3.13	堂下・ 吉田	東京都支援力育成派遣事業　成果報告会	東京	出張
3.24	是枝	千葉県知的障害者福祉協会権利擁護委員会定例委員会	千葉	出張

（若手・準職・ＧＨ職員対象研修）

若手・準職・ＧＨ職員の育成は中堅職員の役割であり、今年度も主任会で実施した。

月	対象職員	実施日	研修テーマ	担当主任
４	新規採用職員	４／　１	規定・マニュアル等	片岡
４	新規採用職員	４／１４	法人理念	軽込課長
５	〃	５／１７	自閉症支援の実践	田辺
６	〃	６／２８	虐待防止	岩瀬
７	〃	７／２２	福祉制度	吉田
１０	〃	１０／　５	健康管理・感染症対策	田辺
１１	若手職員	１１／２２	虐待防止	岩瀬
１１	新人職員	１１／１４	地域支援	屋代
１１	ＧＨ職員	１／２８	虐待防止	岩瀬

1	準職員	２／２８	虐待防止	岩瀬
2	ＧＨ職員	３／２６	地域支援	屋代
3				

８．人事考課「目標管理」

目標管理は人材育成・能力開発・公正な処遇基準とすることを目的とした取り組みであり、人事考課規程に基づき、10 月と 3 月の年 2 回実施した。職員の能力・技術を高めることに加えて、上司と部下の相談や意見交換の機会を増やすことも目的としている。目標管理のみならず日常的な上司と部下の意見交換のツールとして活用されており、職場の円滑なコミュニケーションを深める意味で活用を目標としている。

９．減災・リスクマネジメント

防災対策に関しては中堅職員の工夫が光った年であった。避難訓練は毎月実施されてきたが、変則勤務時の避難想定という意味では取り組んでこなかった。夜勤時に避難するという想定で実際に 3 名の職員での避難訓練を行い、その他の職員による気づきを検証していくことにつながった。またそういった経験が消防署を招いての避難訓練で活かされる結果ともなった。

感染症対策は日常業務の範疇としている。年間を通して日中活動、行事等支障なく過ごすことができた。11 月の一時帰宅から発症したインフルエンザもクラスターにすることなく鎮静化させることができた。

リスクマネジメントに関しては、インシデントレポートの提出件数は 249 件（令和 6 年度 236 件）と前年度から微増したが、令和 5 年度の水準からみればより気づきの重要性を認識する必要がある。外傷転倒報告書は 39 件（令和 6 年度 41 件）事故報告書は 47 件（令和 6 年度は 22 件）と、外傷転倒報告の水準と事故報告の倍増が課題である。特に事故報告の大多数を車両事故が占めていることを考えると、安全運転の徹底が求められる。

10. 権利擁護

（１）東京都福祉サービス第三者評価、利用者満足度調査の実施（7 月 28 日、29 日実施）
今年度も昨年度に引き続き株式会社ハッピーネットワークに依頼。1 日目（グループ実習班、外作業班）2 日目（万木班 1、万木班 2、石鹸班、食品加工班、地域活動班）の 2 日間に分けて生活介護 52 名全員の聞き取りを行い、2 日目には場面観察を含めた施設内案内も行った。利用者調査については権利擁護委員を各所に配置し調査員が円滑に聞き取りを行えるように誘導や声かけを行った。毎年実施する事で利用者の経験値も上がり混乱なく順調に行うことが出来た。

（２）職場内研修（10 月 19 日実施）
「合意形成」をテーマに、グループワークで「NASA ゲーム」を用いて研修を行い、

合意形成について考える機会となった。自分とは違う考えもあるチームで互いの意思を受け入れながら最適な方向を見いだしていくという過程は、施設職員がチームとして利用者支援にあたる上での大切な学びとなり好評だった。

上記以外にも今年度は虐待防止、身体拘束適正化に関する研修会を多数実施している。

①10/18 職員会議にて「身体拘束化グレーゾーンを見極める為の実践的な検討」の研修を実施。

②12/25 非常勤職員対象に「いすみ学園虐待防止規定」の研修を実施。

③6/28 新人職員、11/22 若手職員、1/28GH 職員対象に「権利擁護、虐待防止研修」を実施。

（3）利用者の行事参加アンケート調査の実施と集計

５月に行事参加についてのアンケートを実施、利用者の行事参加についての聞き取りを行った。その結果を基に、夏祭り・槇の里祭・クリスマス忘年会・歌の祭典といった学園行事において利用者の希望する役割に主体的に取り組めるように進めることが出来た。

（4）選挙の投票支援の実施

7 月 19 日（土）参議院議員選挙期日前投票を行った。対象利用者に事前に十分な説明と投票の希望の意思確認をした上で、期日前投票の日程を調整し安全かつ円滑に行えるよう支援した。

11 月 30 日のいすみ市長選挙、2 月 8 日の衆議院議員選挙についてはどちらも 10 数名の希望者がいたが感染症対策強化期間の為実施できなかった。

（5）よりよい支援のために（支援の成功例の事例検討）

昨年度に引き続き今年度も各作業班での班会議時に支援の成功例等についてそれぞれ出しあい記録に残してもらうよう働きかけた。日々の支援について権利擁護の視点で見直し、互いに共有することで新たな気づきやよりよい支援に繋げる事が出来、虐待防止と利用者の権利擁護の一助となっている。

（6）千葉県福祉協会権利擁護委員会への参加

定例会では千葉県の現状や各参加施設の現状など権利擁護の視点での情報交換と、主催の研修会の準備等を行った。

【3】生活介護（６０名）

［作業班編成］

作業班	利用者	職　員
万木工舎班 利用者（9名）	男性利用者　4名 女性利用者　5名	吉田友紀・高地優輔 篠崎俊克・奥野貴成 鈴木典子・會津みどり 鵜澤美帆・小高由希子 吉野由起子・菅根早苗
文化活動班 利用者(11名)	男性利用者　4名 女性利用者　7名	
外作業班 利用者（9名）	男性利用者　9名	田辺清万・三上慎一郎 佐久間雅也・金城正直 長田圭司・三神颯人
地域活動班 利用者（8名）	男性利用者　8名	藤平　響・皆川真輝 川名純子・平山紀夫
石鹸班 利用者(10名)	男性利用者　5名 女性利用者　5名	屋代精一・是枝志津子 岸添有哉・岩瀬佳代子 藤平浩美
食品加工班 利用者(10名)	男性利用者　2名 女性利用者　8名	岩瀬祐三子・祖一陽子 秋葉智子・市東やす子 池田恵理子
グループ実習 利用者（9名）	男性利用者　8名 女性利用者　1名	片岡彰則・末吉武司 大木崇司・泰居容一

（1）作業収益

分　　類	令和7年度（円）
文化活動・石鹸・食品加工・万木・外作業・クラブ活動	5,298,718
受託整備　いすみ市（万木城址公園草刈り・広域農道草花植栽）	1,908,500
受託整備　いすみ警察（障害者優先調達推進法事業）草刈り務	99,000
受託整備　（株）第一エレクトロニクス　除草作業	500,000
受託整備　いすみ市作田区草刈り作業	150,000
合　　計	7,956,218

（２）園内体験異動

昨年同様にリフレッシュを目的とした年間を通した「加工班から外作業班」への週１度の異動。高齢、虚弱対策と夏場の居場所作りを目的にサマータイム期間において、地域活動班から文化活動班へ３名。その期間中に体力作りを目的に文化活動班から地域活動班に３名が異動した。

【４】施設入所支援（５２名）

１　余暇活動

（１）クラブ活動

［クラブ編成表］

クラブ名	利　用　者	職　　員
ウォーキング	女性利用者　　６名	會津みどり・岩瀬祐三子 祖一陽子
スイミング	男性利用者　　７名	田辺清万・泰居容一 佐久間雅也・皆川真輝
太鼓	男性利用者　　７名	屋代精一・大木崇司 高地優輔・岸添有哉
自転車	男性利用者　　７名	末吉武司・片岡彰則 藤平　響
茶道	女性利用者　　４名	是枝志津子・小高由希子 秋葉智子・(小林先生)
陶芸	男性利用者　　６名	篠崎俊克・金城正直 鵜澤美帆・(井口先生)
卓球	男性利用者　　３名 女性利用者　　４名	吉田友希・三神颯人 奥野貴成・川名純子
悠ゆう	男性利用者　　３名 女性利用者　　４名	岩瀬佳代子・三上慎一郎 長田圭司・菅根早苗

今年度も月２回の会議日をクラブ実施日として、内容の充実を図っている。感染対策（マスク着用と手指消毒）を継続しつつ、コンビニでの買い物も実施した。

（２）絵画教室

12 月と 3 月以外の月に（計 10 回)、先生を招き実施した。自らの希望で参加した利用者は、皆楽しんで活動できた様子である。

（3）マイサポート

	実施回数（回）	利用者（名）	備　　考
令和7年度	８２	１０７	内容は個別での外食が中心

（4）ボランティア

行事及び週末余暇において、ボランティアによる支援力はいすみ学園にとって大切なマンパワーと言える。

槇の里祭において、外部より６０名の参加を得た。

（5）いすみ学園三大祭り：夏祭り・槇の里祭・歌の祭典

7月24日に夏祭り。10月25日に槇の里祭。歌の祭典（紅白歌合戦）は2月18日。全て計画通りに実施した。

（6）販売会

6/14、「第三回電車見学day」。7/1、2「夏の生き活きフェア」。8/7「勝浦キュステ販売会」。8/9「ふるさと学舎納涼祭」。9/27、28「生き活きフェアー」。11/3「いすみふる里祭」。11/9「九十九祭」。11/28、29「生き活きフェア」。12/13～26「大丸木工所展示販売会」。2/19、20「生き活きフェア」。3/28「第四回電車見学day（夜桜祭り）」。昨年度を上まわり、開催できた。

（7）行事

・園外行事

実施月日	行先・内容	参加者
６／２	ホタル観賞会	希望者
６／１１・１４	ボーナス外出	全　員
６／２６～２７	食品加工班旅行	班利用者
７／３～４	石鹸班旅行	班利用者
７／２２	乳がん検診	女性利用者
７／３１	万木班日帰り旅行	班男性利用者
９／４～５	G実習班旅行	班利用者
１０／９～１０	外作業班旅行	班利用者
１０／３０～３１	地域活動班旅行	班利用者
１１／５	インフルエンザ予防	地域活動班
１１／６～７	文化活動班旅行	班利用者
１１／１４～１２	万木B班旅行	班利用者
１２／５・６	ボーナス外出	班利用者

１２／１９	クリスマス忘年会	全　員
２／２１	イルミネーション見学	希望利用者
３／５	万木班日帰り旅行	班女性利用者
３／６	万木班日帰り旅行	班女性利用者

・園内行事

実施月日	名称	内容	参加者
４／２６	避難訓練	火災想定	全　員
５／１７	避難訓練	地震想定	全　員
６／１４	避難訓練・消火訓練	火災想定	全員・新人職員
７／１９	避難訓練	地震想定	全　員
７／１～８／３１	サマータイム		
７／２８～２９	第三者評価（利用者調査）	各班対応	全　員
８／１０	ケース会議	交流ホームにて実施	職　員
８／１５	花火大会	園庭にて実施	全　員
８／２３	避難訓練・消火訓練	火災想定	全員・男性職員
９／１	夜間避難訓練・職員招集訓練	避難訓練	全　員・職　員
９／１７	避難訓練	火災想定	GH 利用者･職員
９／２７	炊き出し訓練	LEOC 参加	全　員
１０／１８	避難訓練	地震想定	全　員
１０／３０	インフルエンザ予防接種	医務室にて実施	全　員
１１／２２	避難訓練	火災想定	全　員
１０／２５	槇の里祭	園庭にて実施	全　員
１１／２２	避難訓練	火災想定	全　員
１１／２７	コロナワクチン接種	医務室にて実施	希望利用者
１２／２０	避難訓練	火災想定	全　員
１２／２８	ケース会議	交流ホームにて実施	職　員
２／１８	紅白歌合戦	交流ホームにて実施	全　員
１／９	コロナワクチン接種	医務室にて実施	６５歳以上と希望利用者
１／２４	避難訓練	火災想定	全員（含たんぽぽの家）
２／１４	避難訓練	火災想定	さくらの家
２／２１	炊き出し訓練	昼食で提供	職　員
３／１７	消防訓練	火災想定	利用者・職員
３／２８	花見の会（電車見学 day）	桜の木の下で実施	全　員

毎月。第１土曜日には、血圧・体重測定。 第４土曜日（原則）の昼食時に「誕生会」を実施。

恒例行事は年間予定に沿って予定通りに実施した。

・一時帰宅

実施月日	学園生活者・職員の動きなど
５／　２　～　　５／　４	マイサポートなどに活用
８／１０　～　　８／１２	マイサポートなどに活用
１１／１５　～　１１／１７	マイサポートなどに活用
１／　２　～　　１／　４	マイサポートなどに活用

・面会状況

実施日	主な行事	備考
４／１３	個別支援計画書等の説明	
６／８	学園連絡会	
９／７	学園連絡会	
１２／７	学園連絡会	
３／８	学園連絡会	

今年度は予定通りに実施した。尚、面会時は基本的な感染予防（マスク着用と手指消毒）を保護者に依頼した。

・理事会・評議員会

理事会	５／２９	１１／２０	３／１２
評議員会	６／１３	１２／４	３／２６

【５】短期入所・日中一時支援

（千葉県）

種別	利用者		延日数・時間	前年度
短期入所	1	Na・Ｆｕ	５１日	７日
	2	To・Ｔａ	３６５日	３６５日
	3	Ｋａ・Ｙｕ	３６５日	３６５日
	4	Ｔｕ・Ri	１０４日	２９日
	5	Ｓｕ・Ｋｉ	２日	２日
	6	Ｎａ・Ｋｏ	１１日	０日
（計）	６人		８９８日	対比日＋１３０日
日中一時支援	1	Na・Ｆｕ	１０６時間	８１時間
	2	Ｔｕ・Ri	９３，５時間	１２６，５時間
	3	Ｓｕ・Ki	９０時間	６７時間
	4	Ｙａ・Ａｋ	５８時間	０時間
（計）	４人		３４７．５時間	対比＋１３時間

（東京都）

種別	利用者	日数	備考
短期入所	Ｓｅ・Ｔｏ	９９日	
	Ｍａ・Ｎｏ	１３８日	
（計）	２人	２３７日	

【6】グループホーム

(1)　ＧＨの利用状況（変化なし）

ＧＨ	利用者（男・女）	日中活動など
さくらの家	５名（男３・女２）	職場就労、生活介護（学園の生活介護）
たんぽぽの家	５名（男２・女３）	職場就労、生活介護（学園の生活介護）

高齢化問題はＧＨ利用者も同様。Ｇ実習参加は継続しているが週末などは必要に応じて学園対応としている。令和７年度末で就労していた利用者１名が定年退職となった。

(2)　GH ケア会議

寮長やＧＨ支援職員、ＧＨサビ管、地域生活委員会、就労委員会の委員などが参加して利用者情報の共有と対策等を検討した。

（ケア会議実施日）

４／２３	５／２８	６／２５	７／３０
８／２０	９／２４	１０／２９	１１／２６
１２／２４	１／２８	２／２５	３／２５

(3)　移動支援事業者（２ヶ所のＧＨの合計）

	利用回数（回）	総利用時間（時間）	週平均時間
令和６年度	１８	９２，５	５，１
令和７年度	４２	１６０，０	３，８
増減	＋２４	＋６７，５	－１，３

＊昨年度と同様に、新型コロナウイルス感染予防により外出範囲は千葉県内とした。

(4)　防災訓練・地域清掃活動

[防災訓練]

防災訓練は毎月実施してきたが、１２月からは実際の夜勤対応時を想定した訓練として、男性職員２名・女性職員１名、合計３名での避難訓練を行った。少ない人数での避難誘導はリスクも伴うが、有事を想定しての訓練は重要であり、安全面を考慮して観察職員を各所に配置した中で実施した。

学園実施日：　４／２８，　５／１７，　６／２８　７／１９，８／２３，９／１(夜間)
１０／１８，１１／２２，１２／２２，１／２４，２／２１，３／７

さくらの家実施日：９／１９，　１／１０，３／１１

たんぽぽの家実施日：９／１９，１２／２２，２／１９

[地域清掃]

地域貢献活動の一環として、３／７に広域農道のごみ拾いをグループホーム男性利用者５名と支援職員で実施した。

【7】食　事と睡　眠

・食事に関しては、【２】利用者支援の柱　（４）食事形態　参照

・睡眠時間の確保は、健康維持における重要な問題である。睡眠時間の確保に向けた対応は常に必要な利用者には個別にチェックして支援の検討材料に反映している。また、毎月行っている脳神経科医の野村先生の診察では、特定利用者の報告や相談を行った。

【8】 会　議

「会議」の目的は「課題に対してなにをするかを決定すること」であり、決定したことは実践し、その結果に責任を持つこと（検証）が不可欠である。

（１）運営会議

幹部職員で構成し、重要事項を協議して円滑な事業運営を図る。

ボーナス支給査定委員会、金銭管理委員会（５／２５)開催。

虐待防止委員会（１０／１８，２/２０)開催。

考課者調整会議（前期１０／１６，後期３／２３)開催。

（２）職員会議〔第４土曜日午前中開催〕

全職員が参加し、学園全体に関わる諸問題を報告・検討して周知徹底を図った。

（３）支援会議〔第２土曜日午前中開催〕主任会主催。

会議目的は多くの職員の意見をくみ取り、課題に対する支援の方向性を定めることである。男女別会議の活用も進み、より個別具体的な課題を調整することにつながっている。

（４）サービス点検委員会〔適時開催〕

学園全体に関わる事項の検討・報告は、職員会議/支援会議を通じて全体に周知させている。

（５）主任会［月/１回］

主任、各班の責任者で構成し、課題を分析・提案し、その後の検証までを行う。
７年度も、準職員/パート職員の研修を企画・実施した。

（６）作業班・委員会会議〔作業班会議は隔月/1 回〕

各作業班及び各専門委員会の計画に沿った支援状況のモニタリングを行う。
また、新たな課題等について検討を行った。

（７）クラブ担当者会議〔年/２回実施〕

令和７年度は全体会議としては行わず、ケース会議時に各クラブからの報告の中で利用者の異動等の提案を受け、検討を行った。

（８）ケア会議〔月/1 回〕

GH さくら・たんぽぽの家 寮長と寮長補佐、サビ管、学園職員が参加して、学園と GH を繋ぐ大切な情報を共有する場である。必要に応じてバックアップ体制を整えている。
（【６】（２)に、会議開催日程を記載。）

（９）地域連携推進会議

いすみ学園入所利用者の地域生活とグループホーム利用者の地域生活や関係各機関との連携を考えるべく、２／２に学園にて行った。参加者はガイドラインに示されている関係者を招いて開催した。参加者は、利用者代表２名(入所利用者１名・グループホーム利用者１名)、保護者代表２名(入所利用の保護者１名・グループホーム利用の保護者１名)、地域関係者２名・福祉施設関係者　名・学園職員２名だった。

〔専門委員会〕

①権利擁護委員会　　【2】利用者支援の柱より　(10)権利擁護　参照。

②生活余暇委員会

季節感や生活の豊かさを感じ取れるように、季節に応じた棟内の装飾やイベント参加を企画した。６月は近隣のホタルの里に出向き、夜の遊歩道を散策しながらホタルを観賞し、初夏の夜を満喫。２月は茂原市で開催された冬の七夕祭りに出向き、茂原公園内に装飾されたイルミネーションを散策しながら見学した。また、休日の余暇活動として利用者が楽しんできたボーリングやカラオケについては、地元のボーリング場やカラオケボックスの廃業により長らく休止していたが、茂原市内まで距離を延ばす事で地域資源が見つかり、休日の利用者の楽しみとして再開する事ができた。１０月に開催された槇の里祭で

は、近隣の高校生や大学生、一般のボランティアを募り、当日は模擬店や駐車場の誘導員など、大勢のボランティアの協力を得ることができた。

③地域生活委員会

前年に引き続き令和７年度も１１月中旬から３月前半にかけて感染症対策による影響を余儀なくされたものの、委員会における可能な限りに活動は取り組めてきたと考える。新たな取り組みとして始めた月に２回のグループホームでの昼食会は、定着させることができた。学園職員と利用者及びグループホーム支援職員との交流の機会が増え、これまで以上に関係性を深められた。今後も感染症対策は日常生活や社会活動を維持するために不可欠だが、地域共生社会のもと、一人ひとりの利用者に寄り添いながらバックアップしていきたいと考える。

④就労委員会

令和７年度は次代のグループ実習班のメンバーの育成と社会性を学ぶ場を作る事を目的として「体験実習」を始めることが出来た。特にＩ・Ｋさんに関しては就労経験そのものが未経験ながら、半年の間に目を見張る程の成長を遂げる事ができ、体験実習の意義についても確認をする事ができた。西川より突然定年制が示され具体的に「６５歳の誕生日までと再雇用は無し」と伝えられ、Ｔ・Ｓさんが退職を迫られることになってしまった。これまでも委員会内で定年について議論はされてきたが、企業側から具体的な規定を示されたことで、今後数年内に実習班の構成そのものを大きく変えていかなくてはならなくなった。現在実習班の利用者の約半数が６０歳を超えており、数年内には作業班事態の存続が危ぶまれることになり、その対策が令和８年度の最重要課題である。地域就労者に関しては、一昨年度より日中の職場訪問を再開できたことで、特にＡ・Ｔさんへの支援を充実させる事が出来ている。又グループ実習班同様に次の神保電器、次の源氏商店での就労者も併せて考えていかなければならない。

⑤健康管理委員会（精神科などの診察担当も含む）

栄養士、看護師、支援員、給食業者(レオック)から構成されるメンバーが集まり、毎月会議を開催。健康診断の数値や身体の変化に合わせて、食事内容や量や個別の配慮等について検討した。また、季節を感じる暮らしや楽しい食事の支援に向けて、行事食の検討や季節のメニュー提供等の相談なども行った。栄養士が専門職としての視点から食事支援や生活支援について指導したり、看護師が感染症対策を職場内研修で共有したりもした。毎月実施している嘱託医(野村先生)の訪問診察も委員会で担当し、状態に合わせた生活支援や処方薬の確認等にも対応した。

⑥商品研究委員会

令和７年度も、いすみ学園のことを沢山の方々に知っていただくために、学園の商品、商品製造の様子、野菜などの収穫作業の様子、季節の食事、学園行事等を SNS（インスタグラム）を中心に発信・紹介してきました。

⑦虐待防止委員会

虐待防止委員で構成し、令和７年度は２回の運営委員会を開催し、今年度の取り組みの振り返りを行った。また、今年度は２月に全常勤職員を対象に「職員セルフチェックシート」を活用し自己評価を実施した。職員個々の意識の確認を行う機会となった。

⑧ICT 委員会

令和 7 年度は特に情報の共有化の部分に力を入れて取り組んだ。既存のソフトウェアである「ほのぼの」「ケアパレット」を活かし、いかに皆が日常業務の報連相が出来るかを検討し取り組んだ（aams との連携等）。又職員への裏方として、共有ファイル内のデータの破損等の修復や、ハードの補修等、日常的にシステムの維持、管理を行なった。

⑨オンブズマン会議「よろず相談会」

今年度も第三者委員２名をお迎えし、「よろず相談会」を実施した。
年間を通して偶数月に開催できた。
（４／１９，６／２１，８／１６，１０／１８，１２／４，２／２１）
毎回７～８名の利用者が参加し、悩みや相談事。また日頃の作業や行事の話をされていた。

⑩地域包括ケアシステム構築推進事業

・令和８年３月２７日、夷隅地区自立支援協議会「地域包括ケア会議」に参加。

【9】その他

（1）　「福祉サービス第三者評価」

令和７年度、「(株）ハッピーネットワーク」で受審。

その結果については「福祉ナビ」で公開されている。

（2）実習生受け入れ

・千葉敬愛短期大学２名。２／２４～３／９

・千葉明徳短期大学２名。２／９～２１

（3）各作業班の顧客

・食品加工班

ごじゃ箱　（大原）	290－0004　いすみ市大原 9930	0470-63-1231
ごじゃ箱　（岬）	299－4615 いすみ市岬町井沢 1896-1	0470-87-8580
農産物直売所「まんてんの園」	298－0105　いすみ市能実 39	0470-86-3743
農産物直売所「なのはな」	298－0002　いすみ市日在 1158－１	0470-64-0502
道の駅　（ながら）	297－0233　長柄町六地蔵 138－１	0475-35-4741
セルプショップぶなの森	596－0808　岸和田市北町 16-20	072-431-2878
りんごの木	581－0868 八尾市西山本町 4－15－2	0729-93-4330
ながら太陽ファーム	297-0206　長柄町山根 2010	0475-47-3711
非営利活動法人日本セルプセンター	160-0022　東京都新宿区新宿 1-13-1 大橋御苑駅ビル別館２階	03-3355-8877
PIPPO	125-0042　東京都葛飾区金町 5-28-2	050-5275-2000
（株）レオック	125-0042　東京都千代田区大手町 1-1-3 大手センタービル１７階	03-5220-8503
パレットショップひびき	577-0804 大阪府東大阪市 中小阪５丁 14 番 23 号	06-6732-1130
ベーグル粉音	299-4616 いすみ市岬町長者 37-3	0470-64-4802

・外作業

ごじゃ箱　（大原）	290－0004　いすみ市大原 9930	0470-63-1231
ごじゃ箱　（岬）	299－4615 いすみ市岬町井沢 1896-1	0470-87-8580
農産物直売所「まんてんの園」	298－0105　いすみ市能実 39	0470-86-3743
農産物直売所「なのはな」	298－0002　いすみ市日在 1158－ 1	0470-64-0502
道の駅　（ながら）	297－0233　長柄町六地蔵 138－ 1	0475-35-4741
（株）レオック		
ながら太陽ファーム	297-0206　長柄町山根 2010	0475-47-3711

・石鹸班

ごじゃ箱　（大原）	290－0004　いすみ市大原 9930	0470-63-1231
ごじゃ箱　（岬）	299－4615 いすみ市岬町井沢 1896-1	0470-87-8580
農産物直売所「まんてんの園」	298－0105　いすみ市能実 39	0470-86-3743
農産物直売所「なのはな」	298－0002　いすみ市日在 1158－ 1	0470-64-0502
農産物直売所「はじめの一歩」	299-4413　長生郡睦沢町上之郷 1952	0475-43-0877
道の駅　（ながら）	297－0233　長柄町六地蔵 138－ 1	0475-35-4741
道の駅　（たけゆらの里）	298－0256　夷隅郡大多喜町本神 855	0470-82-5505
源氏商店	298－0124　いすみ市弥正 375	0470-86-2053
JA グリーンスパいすみ	299－0001　いすみ市若山 411	0470-60-9820
ヱビスヤ	299－4501　いすみ市岬町椎木 1846	0470-87-2709
カエム農園	298－0252　大多喜町三又 851	0470-84-0344
わくわく広場　東郷店	297－0017　茂原市東郷 1618	0475-22-7320
ながら太陽ファーム	297-0206　長柄町山根 2010	0475-47-3711
PIPPO	125-0042　東京都葛飾区金町 5-28-2	050-5275-2000
ゆぁぱーく	299-5103　夷隅郡御宿町新町 475	0470-60-2820

設備の整備状況

令和７年度の主な設備整備は次の通りである。

〔固定資産の取得〕

整備名　「デスクトップパソコン（支援室向)」

	取得価格	４５２，１００円
（内訳）	自己資金	４５２，１００円
	補 助 金	０円

整備名　「デスクトップパソコン」

	取得価格	２５３，０００円
（内訳）	自己資金	２５３，０００円
	補 助 金	０円

整備名　「製氷機」

	取得価格	３０８，０００円
（内訳）	自己資金	３０８，０００円
	補 助 金	０円

整備名　「厨房用ミキサー」

	取得価格	１３９，４２５円
（内訳）	自己資金	１３９，４２５円
	補 助 金	０円

整備名　「防獣フェンス」

	取得価格	１４３，８６０円
（内訳）	自己資金	１４３，８６０円
	補 助 金	０円

整備名　「園内路面補修工事」

	取得価格	４，０００，０００円
（内訳）	自己資金	４，０００，０００円
	補 助 金	０円

整備名　「車両購入（ハイエース)」

	取得価格	１，５２２，９９０円
（内訳）	自己資金	１，５２２，９９０円
	補 助 金	０円

整備名　「情報共有のためのソフトウェア（ほのぼの記録システム）更新」

	取得価格	４，６７５，０００円
（内訳）	自己資金	３，４９７，０００円
	補 助 金	１，１７８，０００円（東京都）

整備名　「キュービクル更新工事」

	取得価格	７，６８９，０００円
（内訳）	自己資金	５，３１９，０００円
	補 助 金	２，３７０，０００円（千葉県）

令和７年度　　理 事 会 開 催 状 況

開催年月日	定数／出席者数	議　　案	欠席	監事・他出席者
令和７年５月２９日	７／７	報告　「理事業務執行報告」「常務理事業務執行報告」 「令和６年度社会福祉法人等指導監査の実施報告」 第１号議案　「令和６年度事業報告書」承認の件 第２号議案　「令和６年度決算報告書」承認の件 第３号議案　「社会福祉充実残額シート」承認の件 第４号議案　「任期満了に伴う評議員会への 新理事・新監事選任（案）」提案の件 第５号議案　「任期満了に伴う評議員選任・解任委員選任（案） および評議員選任・解任委員会の招集」承認の件 第６号議案　「任期満了に伴う評議員選任・解任委員会への 新評議員（案）」提案の件 第７号議案　「役員等賠償責任保険契約について」 第８号議案　「第１回評議員会の日程ならびに議案」承認の件		豊岡　　敬 江澤　正利 加茂　正和 軽込　進一
令和７年６月１３日	７／７	報告　「新理事・新監事」について 第１号議案　「理事長・常務理事の選任（案）」について		豊岡　　敬 江澤　正利 渡邉　洋子 加茂　正和 軽込　進一
令和７年１１月２０日	７／６	報告　「理事業務執行報告」「常務理事業務執行報告」 「新棟建設計画の経緯について」 第１号議案　「第一次補正予算（案）」承認の件 第２号議案　「経理規程および経理規程細則（案）」改正の件 第３号議案　「育児・介護休業等規程（案）」改正の件 第４号議案　「常勤職員および準職員・嘱託職員就業規則（案）」改正の件 第５号議案　「第２回評議員会の日程ならびに議案（案）」承認の件	大原　俊二	豊岡　　敬 江澤　正利 加茂　正和 軽込　進一
令和８年３月１２日	７／７	報告　「理事業務執行報告」「常務理事業務執行報告」 「天皇陛下からの御下賜金拝受についての報告」 「令和７年度社会福祉法人指導監査の実施報告」 「いすみ学園大規模修繕計画について」 第１号議案　「第二次補正予算書（案）」承認の件 第２号議案　「令和８年度事業計画書（案）」承認の件 第３号議案　「令和８年度収支予算書（案）」承認の件 第４号議案　「いすみ学園運営規程（案）」改正の件 第５号議案　「第３回評議員会の日程ならびに議案（案）」承認の件		豊岡　　敬 江澤　正利 軽込　進一

令和７年度　　評 議 員 会 開 催 状 況

開催年月日	定数／出席者数	議　　案	欠席	監事・他出席者
令和７年６月１３日	８／７	報告　「新評議員の報告」「令和６年度社会福祉法人等指導監査の実施報告」 第１号議案　「令和６年度事業報告書（案）承認」決議の件 第２号議案　「令和６年度決算報告書（案）承認」決議の件 第３号議案　「社会福祉充実残額シート（案）承認」決議の件 第４号議案　「任期満了に伴う新理事・新監事選任（案）承認」決議の件	津倉　正浩	豊岡　　敬 江澤　正利 渡邉　洋子 加茂　正和 軽込　進一
令和７年１２月４日	８／６	報告　「新棟建設計画の経緯について」 第１号議案　「第一次補正予算書（案）」承認の件	江澤　正利 鈴木　総明	豊岡　　敬 軽込　進一 加茂　正和
令和８年３月２６日	８／８	報告　「天皇陛下からの御下賜金拝受についての報告」 「令和７年度社会福祉法人指導監査の実施報告」 「いすみ学園大規模修繕計画について」 第１号議案　「第二次補正予算書（案）」承認の件 第２号議案　「令和８年度事業計画書（案）」承認の件 第３号議案　「令和８年度収支予算書（案）」承認の件		豊岡　　敬 江澤　正利 渡邉　洋子 軽込　進一 加茂　正和